



カーロリ・ガーシュパル カルビン派大学人文学部日文学科

2011年12月31日現在

1. 機関概要

住所 1088, Budapest Revinszky u. 4/a
電話番号 +36-1-483-2865 E-mail: krebtjap@kre.hu
FAX: +36-1-483-2866
URL <http://www.japantanszek.hu>

2. 沿革

- 1994 : 入試準備講座スタート
- 1995 : 主専攻の日文学科が開設。
- 1997 : 国際交流基金日本語能力試験の実施機関となる。
- 2000 : ブダペスト商科大学貿易学東洋学科と大阪外国語大学ハンガリー学科と協力して日本語・ハンガリー語中辞典編集プロジェクトを発足。
- 2001 : 第14回日本語教育連絡会議主催（ブダペスト）。
- 2002 : 大阪外国語大学との交換留学生協定が締結。
(2007年に大阪大学部局間協定に変更)
- 2002 : 教育省による無期限の認可。
- 2005 : 第18回日本語教育連絡会議主催（エゲル）。
第1回日本学会議開催。
日本政府文化無償援助により、PC室、視聴覚教室設置。
神奈川大学からの教育実習生受け入れ開始。
- 2006 : 第2回日本学会議開催（4月）。
- 2007 : 第20回日本語教育連絡会議主催（マルトンヴァーシャー）。
第3回日本学会議開催（11月）テーマ：通訳と翻訳
大分大学との交換留学・研究交流全学協定を締結。
- 2008 : 第4回日本学会議開催（11月）テーマ：日本の文学
- 2009 : 群馬大学社会情報学部との交換留学・研究交流学部協定を締結。
第5回日本学会議開催（11月）テーマ：日本学への招待
- 2010 : 国際交流基金インターンプログラム実施（9月）
- 2011 : 第6回日本学会議開催（4月）テーマ：日本・中国・韓国
城西大学との交換留学・研究交流全学協定を締結。

3. 目的

学士：高度な日本語能力、日本文化への高い理解力、
(企業就職・通訳ガイドに向けた) 実用的知識などの獲得。

修士：日本語教員、研究者育成。

4. 日本関連図書蔵書数 2800 冊程度

5. 日本学部門スタッフ (研究分野)

常勤

Dr. VARRÓK Ilona (学科長)	: 現代日本文学、日本の教育史
Dr. FARKAS Ildikó	: 日本史、ハンガリー日本関係史、ツラン思想
Dr. GERGELY Attila	: 社会学、現代日本外交、現代日本社会
Dr. JANÓ István	: 日本文学 (現代 比較文学)
MÁTÉ Zoltán	: 日本語学、国語政策、言語計画
MOLNÁR Pál	: 情報学
SOMODI Júlia	: 日本語学、翻訳学
栗村 岬	: 日本語教育
若井 誠二	: 教育学、日本語教授法、対照言語学

非常勤

Dr. Cesh Éva	: 美術史
Dr. Csibra Zsuzsa	: 中国語・美術史
Dr. Mecsí Beatrix	: 美術史、韓国学
Dr. Nemeshegyi Péter	: 宗教学
Dr. VAMOS Péter	: 中国の歴史、中国語
Dr. VIHAR Judit	: 日本文学、翻訳学
Samu Veronika	: 日本語教育
Szemerey Márton	: 日本語教育、社会言語学
Takács Andrea	: 通訳・日本企業文化・翻訳学

6. カリキュラム (学士課程)

一般基礎科目

哲学史、キリスト教学、言語学入門、文学入門、比較言語学、図書学、コンピュータ文献学、コミュニケーション学、社会言語学、情報学、古代・東洋史 I, II、古代・東洋宗教学 I, II、古代・東洋美術史 I, II、古代・東洋言語学、修辞学演習

専門基礎科目

ラテン語 I, II、中国語 I, II、極東宗教、東アジア民族、東洋文献学入門 I, II、比較文学、俳句学、東アジア封建史

専門科目

日本語（文法 I～VI、会話 I～VIII、表現 I～IV、読解 I～IV）

日本文化論、日本史、日本社会学、日本経済・政治学、日本言語学、日本文学、日本宗教学、日本社会とコミュニケーション I, II、通訳理論、通訳演習、古典文学 I, II、日本語ワープロ・PC・インターネット演習、日本語基礎試験、卒論ゼミ、卒論、卒業試験

ゼミ 1（情報学）

日本の情報学の歴史 I, II、日本語情報処理 I, II、リサーチ I, II、プロジェクトワーク、総合演習

ゼミ 2（文学・言語学）

音声学、修辞学、記述文法、言語学演習、言語学講読 I,II、日本文学史 I～III、日本文学講読 I,II、総合演習

ゼミ 3（歴史・社会学）

日本史 I～III、日本史演習 I～III、日本社会学史 I～III、日本社会学史演習 I～III、総合演習

ゼミ 4（翻訳学）

翻訳理論入門、経済入門、法律入門、EU 入門、表現、基礎翻訳技術 I～III、異文化コミュニケーション、翻訳演習 I～IV、文学・専門翻訳理論、文学・専門翻訳実習 I～IV、総合演習

修士課程

基礎科目

古典文献学導入 I、古典文献学導入 II、文法的問題 I、文法的問題 II、議論のスタイル、中国語 I、中国語 II

専門科目

a) 古文、古典

古文、古文演習

b) 言語学

記述文法 I. - 音声学、記述文法 II. - シンタクス、日本言語政策 I、日本言語政策 II

c) 文学

20 世紀の日本文学 I、20 世紀の日本文学 II、近代日本文学 I、近代日本文学 II.

d) 文化史：歴史学、政治史、哲学史

現代日本の歴史 I、現代日本の歴史 II、日本の社会、政治、経済 I、日本の社会、政治、経済 II、伝統的伝承文学、古代・中世の美術、古代・中世の宗教

専門（選択）科目

a) 言語学

古文、言語学-敬語、言語学ゼミ、言語学講読

b) 文学

現代日本文学 I、現代日本文学 II、文学ゼミ、文学講読

c) 歴史学

洪日関係 I、洪日関係 II、日本史ゼミ、歴史講読

d) その他専門 -歴史学/研究方法

日本芸術・文化史、俳句、日本企業と商業文化の比較 I、現代日本外交、日本企業と商業文化の比較 II

e) 専門言語

アカデミックプレゼンテーション、論文分析・作成、待遇表現 I、待遇表現 II、専門翻訳 I、文学翻訳 I、専門翻訳 II、文学翻訳 II.

自由選択科目

翻訳 I. 理論、翻訳 II. 演習、日本語標記法、言語学研究方法、デジタルメディア、日洪オンラインゼミ

修士論文/卒業試験

修論ゼミ、修論（個人）ゼミ、修士論文、卒業試験

7. 在籍学生数（留学・休学中の者を除く）

学士課程：170名

修士課程：27名

8. 日本留学（年に15名程度）

日本政府奨学金留学生（日本語・日本文化研修留学生）

日本政府奨学金留学生（研究留学生）

協定校（大阪大学、大分大学、群馬大学、城西大学）

国際交流基金関西センター

9. 現在抱える問題

- ・学生数の増加、学生の質の変化（日本語初心者増）等とハード（教員数、教室数）のアンバランス
- ・日本語教員養成修士課程が実現していない
- ・教員の学位取得